

錦秋 朝日連峰 竜門～大朝日～小朝日

斉藤整紀

- 平成 27 年 10 月 9 日夜～12 日
 - メンバー 白井(CL)、斎藤巨、西正子、井上、斉藤整紀、岩田、川嶋(旧会員)
 - コース
- 9 日 上野 23:05 (バス:車中泊) ⇒5:20 寒河江
- 10 日 寒河江 5:30 (タクシー) ⇒アメリカ橋 6:20~45→日暮沢小屋 7:45~8:00→清太岩山 11:30→ユウフン山 12:20→竜門山 13:30→13:50 竜門小屋 (泊)
- 11 日 竜門小屋 6:00→竜門山 6:15→西朝日岳 7:30→大朝日小屋 9:15→大朝日岳 9:30~40→大朝日小屋 (昼食) 9:50~10:10→小朝日岳分岐 11:50~12:00→古寺山 12:30→ハナマキ峰分岐 13:40→15:00 古寺鉱泉「朝陽館」
- 12 日 古寺鉱泉 7:30 (タクシー) ⇒寒河江・川嶋邸経由⇒8:20 天童駅 9:50 (新幹線) ⇒11:58 東京駅

【はじめに】

企画係の根幹的な山行計画にも関わらず、当初参加 4 名だけという予告を聞いて、寂しいと思っていたが、経験者 3 名が加わり、安心して臨むことができた。

10 月 10 日 (土) 晴れ時々曇り

3 列の夜行バスは、途中渋滞等で少し遅れての寒河江到着となった。初めての町、終点のバス停には、既に川嶋さんが

予約のタクシーを従えて待っていた。昨年 5 月以来だが、相変わらず、明るく存在感のあるキャラで輝いている。

タクシーは街並を離れ、寂しい道を突き進む。根子川に沿って右折し日暮沢小屋までの林道は行ける所までタクシーで入る。アメリカ橋を渡った所に駐車場があり、ここが終点。改めて参加者は挨拶を交わし、残る林道に歩を進める。

湿った道で、方々に沢水で流された箇所が見られ復旧はまだ先か？美しい滝が続き、流れは楽しい BGM。1 時間程で日暮沢小屋に着いた。豪雪に備えた 3 階建の無人小屋である。ここから右に入り、登山道となる。紅葉の小径は都会と違い彩が豊かである。高度差 850m、高さ 1400m の地点まで登った途端に、右足が攀ってしまい、岩田さんから薬を頂いた。

ここまで来ると朝日連峰が良く望める。以東岳、寒江山、竜門山、西朝日岳、大朝日岳、小朝日岳と並ぶ。また、この辺りの紅葉は美しく写真が忙しい。清太岩山、ユウフン山から竜門山へ向かう頃から、大朝日岳の雲も取れて全容が望める。

自炊の必要から早めの小屋到着を目指したお蔭で 2 時前トップ到着し、窓側のスペースをゲット。まず乾杯！ビールやワインが進み、3 時から待望の川嶋さんのご当地「イモ煮」を開始。私担当の鍋も生きる。牛肉をふんだんに使った鍋は

すき焼きを連想させ、贅沢で美味しい！

夜は夕焼鑑賞と天体ショーを楽しんだ。日本海に沈む夕日は限りなく紅く、太陽が沈んだ後、それが反射して青い空に波立つ雲や放射状の雲を現出し、オーロラにも似て幻想的で、寒さも忘れる。

また真夜中には、村上市か、町の灯りや日本海の漁火も望め、ご機嫌！

10月11日（日）曇り一時雨

今日は寒冷前線通過で天気が悪かった。雨基調の一日で風も冷たいため、雨具上下を付けて出発。竜門山に戻った頃は、まだ雨は殆どなく、全体の展望も得られた。しかし西朝日岳に向かう稜線を進むにつれ、横殴りの雨と日本海からの横風が辛い。西朝日岳に辿り着くまでは、この稜線で一番美しいといわれる大朝日岳の展望は辛くも望むことができた。

雲の流れが速まり、雨も強くなってきたが、幸運にも大朝日小屋への径が尾根の風下の側に切られたトラバース路に変わり、助かった。歩くペースもコースタイムを刻み、ここは小屋を通り越して、一気に山頂へ向かった。山頂は風雨が強く、記念撮影のみで下りるしかなかった。

大朝日小屋まで戻り、風下で昼食を摂り下山についた。天気は相変わらずパツとしないが紅葉は素晴らしい。特に小朝日岳の岩稜と紅葉の対比が美しく、中腹やトラバース路の色づきも素晴らしい。

紅葉の中を縫うように進む小朝日のトラバース路は登りに切られているため、古寺山からの稜線とぶつかる分岐から眺める小朝日岳は、さっき見た物とは別物

で、小さい。ここで少し休息を取り、最後のピーク古寺山、更にハナマキ峰分岐を経由して下りたが、どこも紅葉が素晴らしく、カメラをしまう間もない。しかし無情にも一服清水で喉を潤し、古寺鉢泉まであと1時間という地点から雨は本降りになり、トップの正子さんもピッチが上った。果たして、3時、予定より早く宿に到着。古寺鉢泉は古い学校の様！

冷たい体を温めたいが、風呂は小さく、数人ずつ交代のため、忙しく済ませた。

食事は、値段の割には充実しており、ご飯の「つやひめ」が美味しい。秋田の兄のと比べると若干劣るが、色つや、食感のバランスは悪くない。地酒もすっきりと飲み口に優れ、風合が嬉しい。

食後は、持寄りの酒で飲み直し、9時頃まで川嶋さんを囲んで楽しんだ。「つやひめ」で作った焼酎の芳香に惹かれた。

10月12日（祝） 晴れ

7時半、古寺鉢泉までタクシーに迎えてもらい、寒河江の川嶋邸経由天童駅へ向かった。高い山の山頂部以外はよく晴れて、車内は日差しが眩しく、暑いくらいだ。豪邸の川嶋邸前で由加里さんとお別れし天童駅へ。まず指定券を取り、物産展が9時に開店するのを待ってお土産を買った。車内で天童ワインを賞味、奥深い連峰踏破の満足感に浸った。

遠方の企画を丁寧に詰めてくれた白井さん、美味しいイモ煮と楽しい土地の話題を提供してくれた由加里さん、各場面で盛り上げてくれた皆さん、本当にありがとうございました。次は飯豊！？（了）